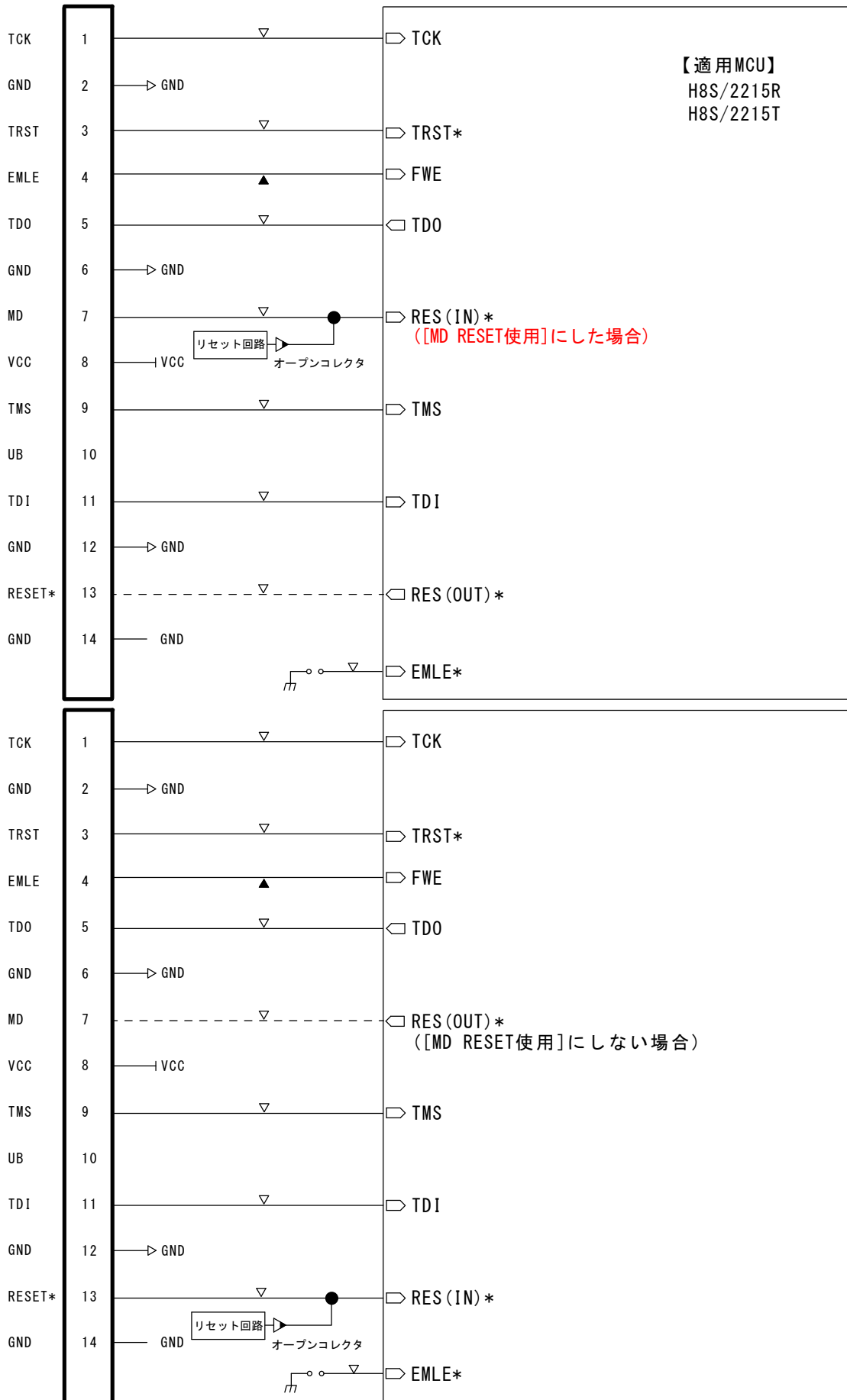


【接続例12-1】 H8S/2215の場合（H-UDI接続）

AH8000接続コネクタ ユーザシステム



- 1) ▽印はプルアップ抵抗です。▲印はプルダウン抵抗です。抵抗値は4.7K~22Kの範囲を推奨します。
- 2) リセット回路の遅延時間は200msec以下になるようにハード設計をしてください。
- 3) CPU設定「MD RESET使用」によりRESETピン配置が変化します。
- 4) Target側[RST(OUT)*]は接続しなくても制御には影響しません。
- 5) デバッグ機能選択端子[EMLE*]をLOWにする回路は、ユーザ側で準備して下さい。
- 6) 未使用ピンは、どこにも接続せず開放して下さい。